

## 広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	胃癌切除後の CT 計測による大腰筋量の変化と予後との関連
研究責任者 (所属科名)	徳本憲昭(外科)
本研究の目的・意義	胃癌における胃切除術後の骨格筋量変化を評価することで、生命予後との関連性を解析し、良い予後が期待できるような指標がないかどうか検討します。
調査方法・調査期間	後向きコホート研究です。調査実施期間は 2011/1 から 4 年間の胃癌手術症例に対しておこないます。同時期の大腸癌手術症例とも比較検討しています。 研究期間：倫理委員会承認後～2022 年 6 月末を予定しています。
該当資料・データ	★対象となる患者様 対象期間に胃癌症例に対し、胃切除手術を施行した、340 例 (同時期の大腸癌手術症例は 332 例) ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 082-815-5211(代) 外科 部長 加納幹浩
備考	